

医療イノベーションの事業化のポイント と医工連携の取組

- 日 時 平成31年 3月12日(火) 13:30~15:30 (受付13:00~)
- 会 場 燕三条地場産業振興センターメッセピア5階 総合研修室①
(三条市須頃1丁目17番地)
- 定 員 50名

参加
無料

●講 演 (13:30~14:40)

「日本発医療イノベーションのグローバル展開の挑戦」

講師：株式会社日本医療機器開発機構 取締役 石倉 大樹 氏

医療機器を含む医療イノベーションの事業化には、臨床的有用性 (Proof-of-Concept) の評価、知的財産戦略、薬事戦略・保険償還戦略、市場性・事業性の評価といった包括的な視点での定量的・定性的調査・評価が必要になります。一方、医療・ヘルスケア業界におけるニーズの多様化に伴い、個別製品の対象マーケットはよりフラグメント化しており、「治療機器」「診断機器」といった従来の医療機器の区分に留まらない新たな医療機器の分野も生まれつつあり、事業化を進める我々事業者側には他分野の技術を複合的に組み合わせるための知見・情報網に精通していることも、製品のグローバル展開には必須となりつつあります。



講演では、医療機器を含む医療イノベーションを事業化する上で、どのような点に特に留意して事業化の意思決定をするべきかについて、インキュベーターとして自社開発・ベンチャー支援を進める自社の開発案件並びに他社の事例も交えながら概説します。また、医療イノベーションの昨今のグローバルの潮流を紹介しつつ、今後特に事業化が進むと考えられる領域についても概説します。

《講師略歴》

医療分野での起業・新規事業開発に特化。自ら創業メンバーとして参画した創業ベンチャー・アキュメンバイオフーマは、日本で初めて大学発の技術を事業化した会社として上市（欧州）に成功。その後は医療ITベンチャー・エムスリーにて、製薬企業及び医療機器メーカーの治験を加速化させるITサービスの新規事業開発をリード。スタンフォード大学経営学修士課程（MBA）留学中には、Medicine X のInnovation Sourcing Team として、mHealth 及び Health Tech の startup を投資検討し、Biodesignプログラムも経験。現P5, Inc. 取締役、現ノバルティスファーマ株式会社Biocamp審査委員、平成27年度東京大学大学院薬学系研究科非常勤講師。平成29年新エネルギー・産業技術総合開発機構NEDO TCP (Technology Commercialization Program) メンター、平成29年度未来2018アドバイザー。

●新潟大学地域創生推進機構の取組紹介 (14:50~15:20)

●県央基幹病院の医工連携に向けた取組紹介 (15:20~15:30)

【申込み・問合せ】

「参加申込書」にご記入の上、3月8日(金)までにFAX又はメールにて以下にお申込みください。

※手話通訳・要約筆記を希望される方は2月22日(金)までにお申込みください。

《問合せ先》新潟県 産業振興課 新分野育成係（新潟市中央区新光町4番地1）

TEL：025-280-5718 / FAX：025-280-5508 / E-mail：ngt050030@pref.niigata.lg.jp

(FAX : 025-280-5508 E-mail : ngt050030@pref.niigata.lg.jp)

新潟県産業労働観光部 産業振興課 新分野育成係 行き

医療機器ビジネス参入促進セミナー参加申込書

日時 : 平成 31 年 3 月 12 日 (火) 13:30~15:30 (受付 13:00~)

場所 : 燕三条地場産業振興センターメッセピア 5 階総合研修室①(三条市須頃 1 丁目 17 番地)

申込締切 : 3月8日(金)

※手話通訳・要約筆記を希望される場合は、2月22日(金)までにお申込みください

企業・団体名	
連絡先	電話 :
	メールアドレス :

※手話通訳・要約筆記を希望される方は、「○」を記入してください

参加者	部署・役職名	氏名	手話通訳の希望	要約筆記の希望

※参加申込書にご記入いただいた情報は、名簿作成等、本セミナーの運営上必要な範囲内で利用させていただきますので、ご了承ください。

【会場案内】 燕三条地場産業振興センター(三条市須頃 1 丁目 17 番地)



- JR 上越新幹線燕三条駅 (燕口) から徒歩 5 分
 - 北陸自動車道三条燕インターチェンジから車で 5 分
- ※駐車場 約 350 台(無料)